

平成23 年度（ 22 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 23 年 5 月 10 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 530701	保田ヶ池公園区域拡大基本計画策定事務費				主管課名	都市計画課				
	この事務事業 の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境				課長名	細野 泰志				
		施策	緑に包まれ、水に親しむ、快適で美しいまち				主管係名	都市計画係				
		基本事業	保田ヶ池公園の拡張整備									
	(1)事業の概要											
	保田ヶ池公園区域拡大基本計画策定事務は、NPOとの協働により現地調査、ワークショップの企画・運営、基本計画図の作成等を行う。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)						
						名 称		単位				
						保田ヶ池公園 都市計画決定面積		ha				
						その指標						
	(22年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
現公園区域の南側に2.2ヘクタール区域を拡大するにあたり、利用者(市民)に親しまれ、愛着が持たれる公園となるように、NPO法人と協働し、ワークショップ形式で基本計画を策定した。												
23年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		平成22年度で計画策定済み						
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)							
市民の意見を基本計画に反映させるため、開催したワークショップ					名 称		単位					
					ワークショップ開催数		回					
					ワークショップ参加者数							
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)							
ワークショップで作成した基本計画図を都市計画決定図書とする					名 称		単位					
					基本計画図の作成		策定					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)							
利用者(市民)に親しまれ、愛着が持たれる公園となる					名 称		単位					
					「緑豊かで快適な美しいまちづくり」に満足と答えた割合		%					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
(5)の活動指標		ha		11.1	11.1	13.3	13.3	13.3				
(6)の対象指標		回		5	0	0	0	0				
				76	0	0	0	0				
(7)の成果指標		策定		1								
(8)の結果の成果指標		%		64.8	70	70	70	70				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	01
(11)コスト		年度	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	0	1,802	0	0	0	0				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	0	1,802	0	0	0	0			
人件費B		千円	1	922	0	0	0	0				
正職員従事時間×人数		時間×人	×	125 × 2	0 × 0	0 × 0	0 × 0	0 × 0				
正職員以外の人件費		千円	1									
その他費用C		千円										
トータルコストA+B+C		千円	1	2,724	0	0	0	0				
単位あたりコスト		千円/ 回		545								
(トータルコスト		千円/		36								
/(6)の対象指標)		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 530701 保田ヶ池公園区域拡大基本計画策定事務費	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成22年度 から	特になし
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 住民参加による整備計画の策定のため	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定事務ですか、それとも、自治(任意)事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定事務 自治(任意)事務	根拠法令 法定事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	特になし まちづくり基本計画の参加型まちづくり		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	現状で特に問題はなし。成果を向上させる必要もない。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要 受益者がいない	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	低下